

JICA 沖縄

2020 年度業務実績報告書

JICA Okinawa Annual Report
Japanese Fiscal Year 2020



Japan International Cooperation Agency



【研修員受入事業】

日系社会研修
「沖縄ルーツの認識を通じて学ぶソフトパワーの活用と地域活性」
遠隔研修



課題別研修
「公衆衛生活動による母子保健強化」
遠隔研修



【研修員の帰国後の活動】

病院で新型コロナウイルス感染要予防のリーダーシップを発揮
(ウガンダ)



【草の根技術協力事業】

みやぎ農園
「微生物を活用した養鶏農家育成事業」でのヒナへのワクチン接種
(ブータン)



【海外協力隊事業】

オンライン体験談



世界各国の言語で歌う動画
「おきなわうたゆんプロジェクト」



【国際理解教育・開発教育支援事業】

教員、実践者向けワークショップ



【地域の関係団体との連携促進】

浦添市立図書館で読み聞かせを行う
マラウイ研修員



【おきなわ国際協力・交流フェスティバル】

(1) 学生から沖縄県知事へのSDGsアクションの
発表をライブ配信



(2) 研修員の紹介とエスニック料理の
レシピ・クッキング動画



【民間連携事業】

南西環境研究所・ウエスコットウエスト共同企業体
バイオログフィルター普及実証事業の現地調査
(サモア)



レキオソフト
早期地震検知システム案件化調査事業の現地説明会
(ペルー)



目次

はじめに	1
沿革	2
組織 / 施設	3
事業	6
1. 研修員受入事	6
(1) 研修員の受入	6
(2) 研修員滞在中の共通プログラム	9
2. 市民参加協力事業	10
(1) 地域の開発パートナーとの連携による国際協力事業	10
①草の根技術協力事業	10
②地域の開発パートナーとの連携	10
(2) JICA 海外協力隊事業	11
① JICA 海外協力隊事業	11
② JICA 海外協力隊事業に関連する国内事業	12
(3) 国際理解教育・開発教育支援事業	13
①国際協力出前講座・訪問学習	14
②職場 / 就業体験、インターンシップ	14
③国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト	14
④教師海外研修	14
⑤国際理解教育・開発教育指導者養成講座	15
⑥教員向けのその他の研修	15
(4) 地域における国際協力の理解促進と国際交流	15
①おきなわ国際協力・交流フェスティバル	15
②ふれあい講座	15
③地域の関係団体との連携促進	16
④地方メディア派遣	16
3. 民間連携事業	16

資料.沖縄県における JICA 事業実績

- 資料 1. 研修員受入実績 (1982 年度～2020 年度)
- 資料 2. 研修付帯業務実績 (2020 年度)
- 資料 3. 草の根技術協力事業実績 (2003 年度～2020 年度)
- 資料 4. 海外協力隊分野別派遣実績 (2020 年度までの累計)
- 資料 5. 海外協力隊国別派遣実績 (2020 年度までの累計)
- 資料 6. 海外協力隊パネル展・個別相談実績 (2020 年度)
- 資料 7. 国際協力出前講座実績 (2020 年度)
- 資料 8. センター訪問学習実績 (2020 年度)
- 資料 9. 職場/就業体験、インターンシップ (2020 年度)
- 資料 10. 国際協力中学生高校生エッセイコンテスト沖縄県内受賞一覧 (2020 年度)
- 資料 11. 教師海外研修実績 (2020 年度)
- 資料 12. 国際理解・開発教育指導者養成講座実績 (2020 年度)
- 資料 13. 教員向けのその他の研修実績 (2020 年度)
- 資料 14. 地域の関係団体との連携実績 (2020 年度)
- 資料 15. 地方メディア派遣実績 (1994 年度～2020 年度)
- 資料 16. 民間連携事業実績 (2011 年度～2020 年度)

はじめに

独立行政法人国際協力機構（JICA＝ジャイカ）は、日本の政府開発援助（ODA）の実施機関であり、開発途上国に対する技術協力（専門家派遣や技術研修員受入れ等）、無償/有償資金協力、日本国民・団体等による国際協力活動に対する支援（JICA海外協力隊や草の根技術協力、開発教育支援）および企業の開発途上国への事業展開支援（民間連携事業）などを行っています。

JICA沖縄は、全国に15ヵ所あるJICAの国内拠点の一つですが、センター所在地の振興に貢献することが法律等で明記されている唯一の国内拠点です。具体的には、改正沖縄振興特別措置法第87条（JICAは沖縄の特性に配慮し、沖縄の国際協力の推進に資するよう努める）及び同法第3条の2に基づく沖縄21世紀ビジョン基本計画（第5次沖縄振興計画）の基本施策の4（県の国際協力・貢献拠点の形成実現に協力する）のとおりです。2013年3月には、沖縄県とJICAは連携協定を締結し、沖縄県と開発途上地域の発展のため、連携協力を強化・推進してきています。JICAにとってこのような都道府県との連携協定の締結は沖縄県が初めてとなります。

JICA沖縄は、沖縄県内において、主に技術研修員の受入、海外協力隊員等の募集・帰国後の支援（社会還元への支援を含む）、NGO・自治体・大学等の提案に基づく草の根技術協力、国際理解教育・開発教育支援、企業の開発途上国への事業展開支援、地域の国際交流への支援などを行っています。これらの事業の企画・実施を通じ、沖縄21世紀ビジョンの将来像Ⅳ（世界に開かれた交流と共生の島）、将来像Ⅲ（希望と活力にあふれる豊かな島）及び将来像Ⅴ（多様な能力を発揮し未来を拓く島）の施策の実現を促進し、沖縄と開発途上国が社会・経済の振興を含む互恵的な関係を構築し維持していくことに貢献しています。

今後もJICA沖縄は、設立以来培ってきた経験を踏まえ、沖縄の特色である島しよ性、亜熱帯性、独自の歴史・文化および社会包摂を活用した、沖縄ならではの事業をSDGs（持続可能な開発目標）の達成に向けて展開していきますので、皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



沿 革

1981年1月に鈴木善幸総理大臣（当時）がASEAN加盟各国（当時は5か国）を歴訪した際、ASEAN各国の社会・経済開発を担う人材を育成するため、日本の援助によりASEAN各国に人造りセンターを設置することが提唱されました。これを踏まえ、日本側でも、技術研修を行うセンターを新たに設置することとなり、1985年4月17日、浦添市前田に、国際協力事業団沖縄国際センターが開設されました。

1992年に、国際センターは、青年海外協力隊等ボランティア派遣業務などを実施していた国際協力事業団沖縄支部（那覇市）と統合され、県内のJICA事業の拠点が一元化されました。

1999年3月に、セミナー等を行う多目的室、図書資料室や広報展示スペース「JICAプラザ」を備えた二ライホールが完成してからは、市民に開かれた国際センターとして、地方自治体や学校、NGO等の国際協力活動にご利用いただいています。

2003年10月の独立行政法人化及び国際協力機構への改称、2008年10月の国際協力銀行（JBIC）の海外経済協力業務（有償資金協力）と外務省の無償資金協力業務の一部の承継を経て、JICAはODAを一元的に実施する、世界でも有数の援助機関となりました。

2012年には、主に中小企業の海外進出をサポートする民間連携事業が本格的に始まり、幅広い国際協力の担い手の皆様とともに、開発途上国・地域の経済・社会開発に貢献してきています。

組 織 / 施 設

1. 名称

正式： 独立行政法人国際協力機構 沖縄センター
 略称： JICA沖縄（ジャイカおきなわ）
 英文： Japan International Cooperation Agency,
 Okinawa Center (JICA Okinawa)

2. 所在地／連絡先

住所： 沖縄県浦添市字前田1143番地の1
 郵便番号： 901-2552（JICA沖縄専用番号）
 電話： (098) 876-6000（代表）
 ファックス： (098) 876-6014
 ホームページ： <http://www.jica.go.jp/okinawa/>
 アクセス： ゆいレール経塚駅から徒歩6分など

3. 組織

- ・総務課（Administration Division）
- ・研修業務課（Training Program Division）
- ・市民参加協力課（Partnership Program Division）

4. 開館時間

(1) 事務室執務時間	月～金 9:30～17:45 (昼休み 12:00～12:45)	休業：国民の祝日、 12月28日～1月3日
(2) 図書資料室、JICAプラザ	月～土 10:00～20:00 (土曜は18:00まで)	
(3) OIC(おいしー) 食堂	毎日 12:00～14:00, 18:00～ 20:00 *新型コロナウイルス感染拡大防止 のため現在は11:30～14:30のみ	休業：12月28日～1月3日 不定期の臨時休業
(4) 外部施設利用 (セミナールーム、体育館等)	毎日 9:30～22:00	休業：12月28日～1月3日 不定期の臨時休業

* (2)(3)はどなたでも予約なく利用できます。(4)は国際理解の目的で予約にて利用できます(原則、有料)。

5. 施設規模

敷地面積：32,484.74㎡／建物面積：6,128.36㎡／延床面積：12,199.32㎡

6. 主要施設

(1) 管理研修棟

JICA 沖縄の運営・管理を行っている事務室・会議室、開発途上国からの研修員等が利用する教室、般の方も利用できるSDGs等の体験展示スペースやラーニングコモンズなどがあります。

(2) 厚生棟 (OIC 食堂)

世界各国からの研修員が利用する食堂は、ムスリムフレンドリー認証を取得。食の国際理解の場として一般の方もご利用いただけます。

(3) 宿泊棟

途上国からの研修員や当センター事業関係者が利用するシングルルーム (96 室)、ツインルーム (8 室)、洗濯室、トレーニングルーム、ラウンジがあり、シングルルームの 4 室に車いす使用者向けの設備を備えています。

(4) ニライホール

民族衣装などや写真撮影スポットがある「JICA プラザ」や世界各国や国際協力に関する図書・絵本・映像があり貸し出しも出来る図書資料室があります。また、TV 会議システムや多人数でのセミナー開催が可能な多目的室などがあります。

① JICA プラザ (2 階)

お子様から大人の方まで幅広い層に途上国や国際協力について触れて知っていただけるように、世界各国の民族衣装の試着・貸出スペースやキッズスペース、写真撮影用バックパネルがあります。(新型コロナウイルス感染拡大防止のため民族衣装の試着は現在行っておりません)

② 図書資料室 (2 階)

図書資料室は、技術研修を補完する専門書 (英語) や、国際理解、国際交流、国際協力に関する蔵書を 3 万冊以上保有しており、どなたでもご利用いただけます。中学生以上の方であれば貸出も可能です。

③ JICA-Net 室 (3 階)

JICA 沖縄を他の JICA 拠点 (本部、国内拠点、海外拠点) や大学、研究機関等と通信回線で接続し、遠隔講義や TV 会議を行っています。

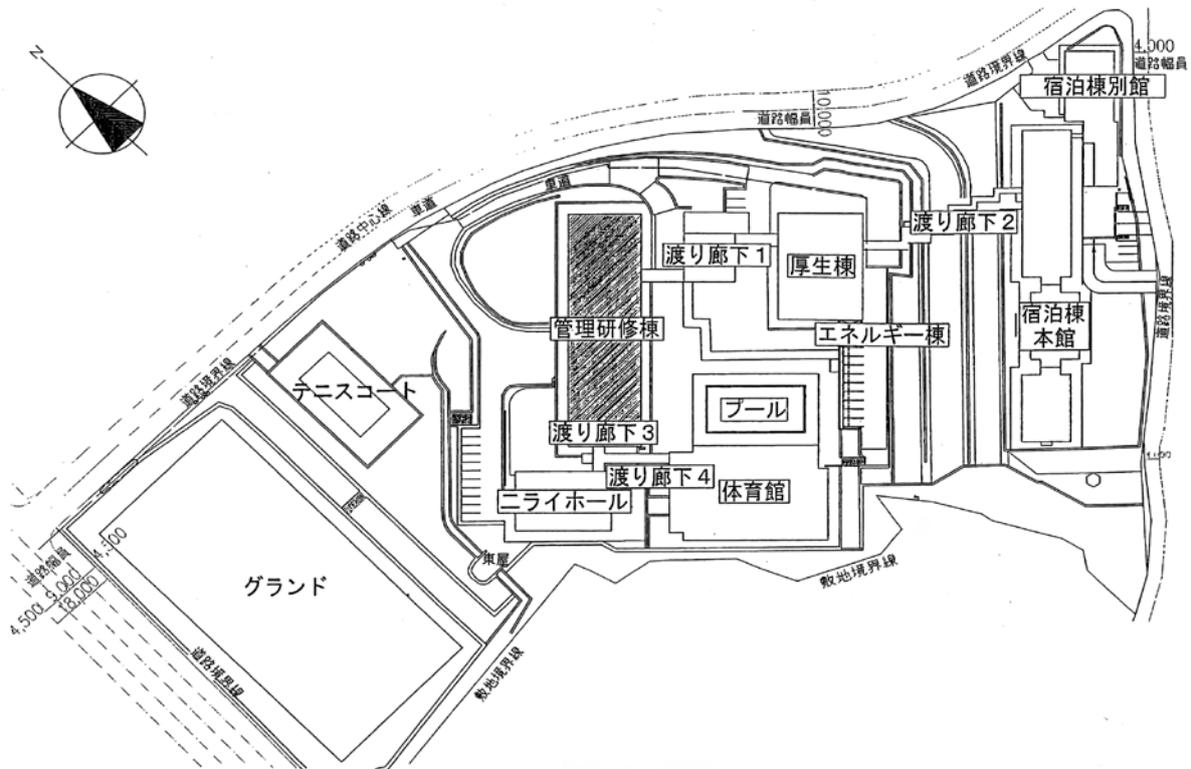
(5) 運動施設

体育館 (兼講堂)、プール、テニスコート、グラウンド

(6) エネルギー棟

非常用発電設備を含めた電源設備を集約し、効率的なエネルギー供給を行っています。

(※) 施設見学をご希望の場合は、JICA 沖縄にご連絡下さい。受付時間は月曜日から金曜日まで（祝日を除く）の9:30～12:00、14:00～17:00です。



7. 大規模災害時の施設提供

大規模災害時に JICA 沖縄の施設が利用できるよう、官公署等と協定を結んでいます。

浦添市（市民の避難先。特に外国人被災者を想定）

浦添警察署（警察署の代替施設）

沖縄県国際協力・人材育成財団（災害時の外国人支援ボランティア事務局の代替施設）